

第25回横浜市立大学がんプロ公開セミナー成果報告

内容要旨：

樽見葉子先生は、1991年に札幌医科大学を卒業後、麻酔科に入局。1999年に緩和医療としてカナダ・アルバータ大学総合病院での研修を開始し、2000年にアルバータ大学病院のインターンシップを修了。緩和ケア先進国カナダにおいて臨床、研究、教育を進めている第1人者です。現在はカナダ・アルバータ大学の腫瘍学・緩和ケア医療部門 教授、ロイヤルアレクサンドラ病院緩和ケア部部長としてご活躍されております。

セミナー昼の部では学生対象としたランチョンセミナーとして、カナダの緩和医療についてご講演され、日常、カナダの緩和医療で行っているエドモントン症状評価システム、Advanced Care Planningなどについてご紹介され、緩和医療の早期介入、症状スクリーニングが、患者の生活の質だけでなく生存率も改善することが報告されました。セミナーではPoll Everywhereのツールを使用し参加者全員が質問形式として参加できるワークショップを実施しました。学生はipadやスマートフォンを使用し、生命など精神に関わる事象について一人一人が個の責任においてつなげていました。



昼の部ランチョンセミナーの様子

セミナー午後の部では、地域関連病院、学内の医療関係者を対象としたがんプロ公開セミナー「最新のがん慢性疼痛ガイドラインについて」と題しご講演いただきました。

現在、がん治療の成績向上によりがんサバイバーが増加している中、長期生存者が増加しております。今回、北米におけるオピオイドの過量投与とケミカルコーピングの問題に関連してがんサバイバーの慢性疼痛について、カナダの具体的な症例にもとづきご説明いただきました。2015年のOpioid Consumption Mapsにおいて、カナダ・アメリカは投与量の多い国として挙げられ、日本はオピオイド使用量が少ない国とされていましたが第2グループに突入していることが報告されました。このような背景のもと、今後オピオイドの過量投与の問題について取り組む必要性が考えられます。2016年、ASCOではがん慢性疼痛ガイドラインが作成されました。オピオイド鎮痛薬は、長期服用により μ 受容体に関与しない副作用として内分泌異常が起こり患者のQOLを低下させること、痛覚過敏、またさまざまな機能不全などが報告されています。今後、長期生存の高いがん患者には、オピオイドに関して慎重に考慮しながら治療する必要性と患者の精神性、生活の質向上もトータルに取り組んで行くことが可能となりました。

第25回横浜市立大学がんプロ公開セミナーは（東邦大学、自治医科大学、首都大学東京と遠隔同時中継を実施）、大学区医師会、第209回キャンサーボードを同時開催いたしました。また、文部科学省の多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン事業の一貫として企画しております。

当日はランチョンセミナー30名、連携大学によるがんプロ公開セミナーは79名が参加されました。



演者 樽見 葉子先生



午後の部がんプロ公開セミナーの様子

第25回横浜市立大学がんプロ公開セミナー
演題 最新のがん慢性疼痛ガイドラインについて
日時 2018年11月7日（水）18:00～19:30
場所 横浜市立大学ヘボンホール
演者 樽見 葉子先生
(カナダ・アルバータ大学腫瘍学・緩和ケア医療部門 教授)

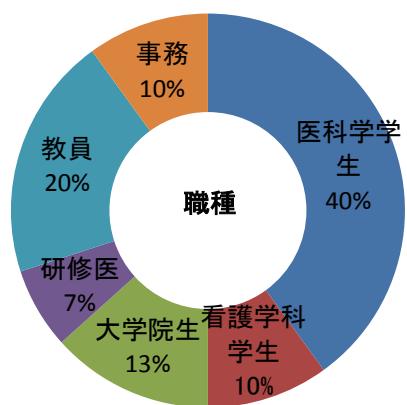
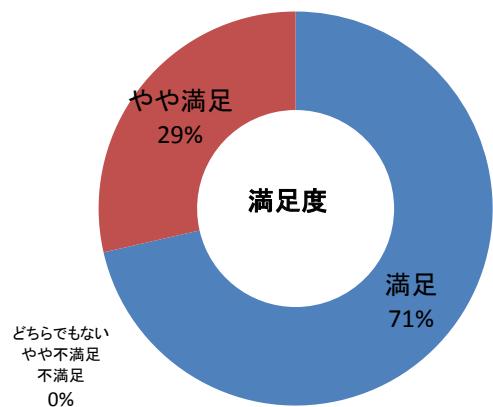
公立大学法人横浜市立大学
文部科学省 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン事業
がん救済化政策を実現する医療人育成

**最新の
がん慢性疼痛
ガイドラインについて**

第25回がんプロ公開セミナー 第209回キャンサーボード
2018年 11月 7日 (水) 18:00～19:30
横浜市立大学 ヘボンホール
主催 横浜市立大学医学部附属病院
共催 横浜市立大学附属病院、横浜市立大学、大学医薬部
日本医師会生涯教育委員会、基盤 (カリキュラム)、シードライン、医師会連合会
Prof. Yoko Tarumi
Clinical Professor, Division of Palliative Care Medicine
Department of Oncology, University of Alberta, Canada
主催 横浜市立大学医学部附属病院
共催 横浜市立大学附属病院、横浜市立大学、大学医薬部
日本医師会生涯教育委員会、基盤 (カリキュラム)、シードライン、医師会連合会
TEL:046-787-2623 FAX:046-787-2740 E-mail: seminar@yokohama-u.ac.jp

セミナーインケート結果

がんプロランチョンセミナー



第25回がんプロ公開セミナー

